



# 厚賀小だより

令和6年1月26日（金）

第11号

日高町立厚賀小学校

令和5年度 重点目標 ～自信と思いやりを育む教育の展開～

## 3学期のスタート ～1年のまとめ～

校長 田中 豊人

令和6年（2024年）となり、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、心新たに新年をお迎えることと存じます。本年も、厚賀小学校にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1月1日、能登半島で大きな地震が起こり、津波も発生するなど、甚大なる被害がありました。お亡くなりになられた方々、そのご家族、ご親族、関係者の方々に対しまして、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、救急救助並びに復旧活動にあたられている皆様に感謝いたしますとともに、被災地にいる皆様の安全確保、そして一日も早い復旧・復興を切に願っております。

さて、冬休みが終わり、1月19日（金）に、子供たちは元気よく登校してきました。静まり返っていた校舎も、子供たちの笑顔や声で一気に明るくなりました。一人一人が元気に登校し、当たり前のように始業式が行えることに、とても嬉しく幸せであることを実感します。始業式では、子供たちにそのことを伝えると共に、災害時の行動や交通安全、冬型の事故など、自分の命は自分で守ることを話しました。また、新年や3学期に向けた「夢」や「目標」などについて話しました。

各学級では、冬休みの思い出や作品・自由研究の発表が行われ、休み中の楽しかったことや頑張ったことなどを伝え合い、一人一人それぞれにより冬休みを過ごした様子がわかりました。

3学期は、43日ですが、すでに、6日経ちましたので、あと37日しかありません。6年生にとっては、小学校生活最後の期間となります。6年間の振り返りをしっかりと行い、卒業式に向けての活動などに全力で取り組んでくれることを願っています。他の学年の子供たちにとっても、今年度のまとめの大切な時期ですので、年間の総仕上げ、次年度の進級・進学に備えるために充実した3学期にしていきたいと思っております。子供たち一人一人がこの一年間の自分の成長を実感し、希望や目標をもって新たな年度に向かうことができるよう、職員一同が一丸となって指導していきたいと考えています。

### 【冬休み 作品展】





## 令和5年度 厚賀小学校行事予定表

日	曜日	行事・会議等	下校バス (金) 15:45	給食
1	木	・見学学習(5年) 門別 9:50~ ・職員会議(予備日) ・図書支援訪問	14:15	○
2	金	・新入生一日体験入学	14:25 15:35	○
3	土			
4	日			
5	月		14:25 15:35	○
6	火	・児童会⑬ ・中学校入学説明会	14:25 15:35	○
7	水	・図書支援訪問	14:25 15:35	○
8	木	・新年度方針会議	14:15	○
9	金		14:25 15:35	○
10	土			
11	日	建国記念の日		
12	月	振替休日		
13	火	・児童会⑭	14:25 15:35	○
14	水	・図書支援訪問 ・町P連理事会	14:25 15:35	○
15	木	・全校参観日	14:15	○
16	金	・立会演説会 ・定時退勤日	14:25 15:35	○
17	土			
18	日			
19	月		14:25 15:35	○
20	火	・認証式	14:25 15:35	○
21	水	・移動図書 ・縦割り班会議 ・第3回学校運営協議会 19:00~	14:25 15:35	○
22	木	・午前授業(給食有り) ・新年度計画会議 ・定時退勤日	13:00	○
23	金	天皇誕生日		
24	土			
25	日			
26	月		14:25 15:35	○
27	火		14:25 15:35	○
28	水	・図書支援訪問	14:25 15:35	○
29	木	・新年度計画会議(予備日)	13:00	○
授業日		2月計19日 累計187日	給食日数	19
下校バス	月曜	1便:1・2年 2便:3~6年	【備考】	
	火曜	1便:1~3年 2便:4~6年		
	水曜	1便:1年のみ 2便:2~6年		
	木曜	1便のみ:全学年		
	金曜	1便:1・2年 2便:3~6年		

発行時の予定ですので、変更等については「マチコミ」や学級通信などをご確認ください。



## 1月の主な活動

1月19日(金)  
3学期 始業式



大谷選手より届きました!



ロサンゼルス・エンゼルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介しますためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。野球しようぜ。

大谷翔平